

紫外光(UV-B)利用によるバラうどんこ病の防除技術を確立

【背景・目的・成果】食の安全安心、生産者の農薬散布低減のため、既に紫外光照射によるイチゴ病害防除技術を確立しています。花き類のバラにおいても同様の目的で、防除が困難な重要病害であるうどんこ病に対して、紫外光で高い防除効果を認め、防除技術として確立できました。

植物病害防除用照明装置
「タフナレイ」



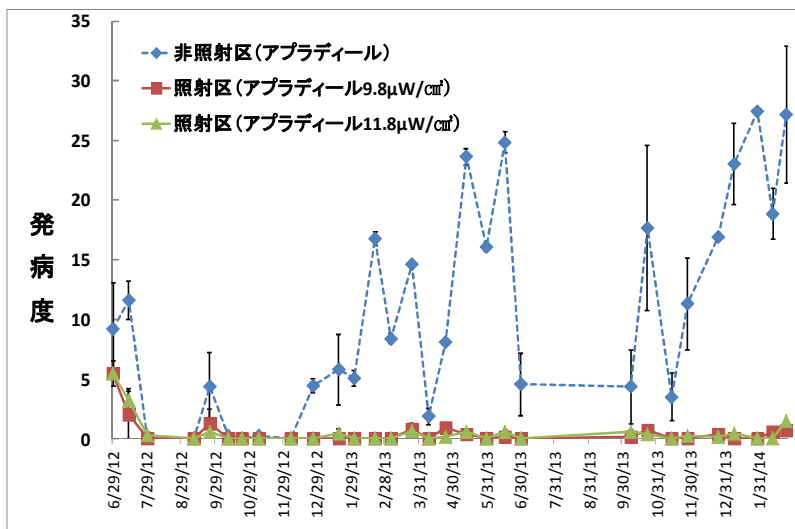
バラのハウスで「タフナレイ」を点灯
照射時間(23時—翌2時の3時間)



紫外光を浴びた健全な
バラ



紫外光を浴びなかったう
どんこ病に罹ったバラ(○
内の葉に白い斑点が発生)



ハウス内のバラうどんこ病の推移
紫外光を当てると発病がとても少ない
(2012年→2014年、品種:アブラディール)



改良型のUV-B電球形蛍光灯
低コスト・長寿命です

【技術の活用】今後、紫外光によるバラうどんこ病とハダニの同時防除技術を確立・普及していくとともに、改良型の「UV-B電球形蛍光灯」を使って、他作物他病害虫にも適用を拡げていきます。